

※地盤変動量図・地下水位等高線図は建設局土セン発行「地盤沈下調査報告書」を引用、加筆

地盤

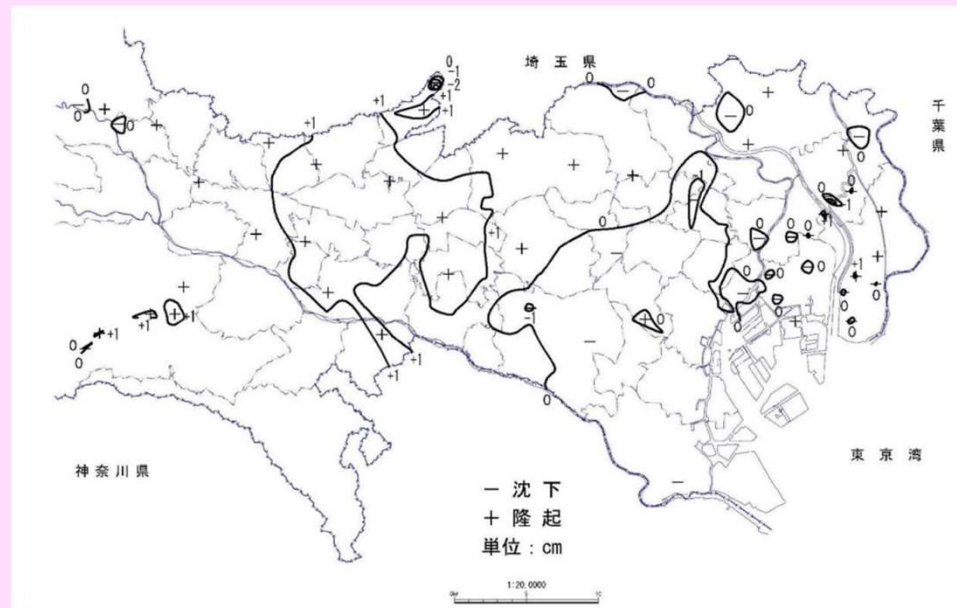
全体として安定した状況。直近5年間の地盤変動量で、2 cm以上沈下した地点は清瀬市内の1地点である。

地下水位

全体として上昇傾向が継続しており、特に多摩東部で地下水位等高線が東へ移動している。低地の水位上昇量は減少傾向。

揚水量

令和5年の都内揚水量は267千 m^3 /日で、直近5年間で101千 m^3 /日減少した。うち96千 m^3 /日が上水道用揚水の減少。昭和46年揚水量の19%となった。



直近5年間の地盤変動量図（平成31年～令和5年）

令和5年末の地下水位等高線図

小金井

調布

三鷹

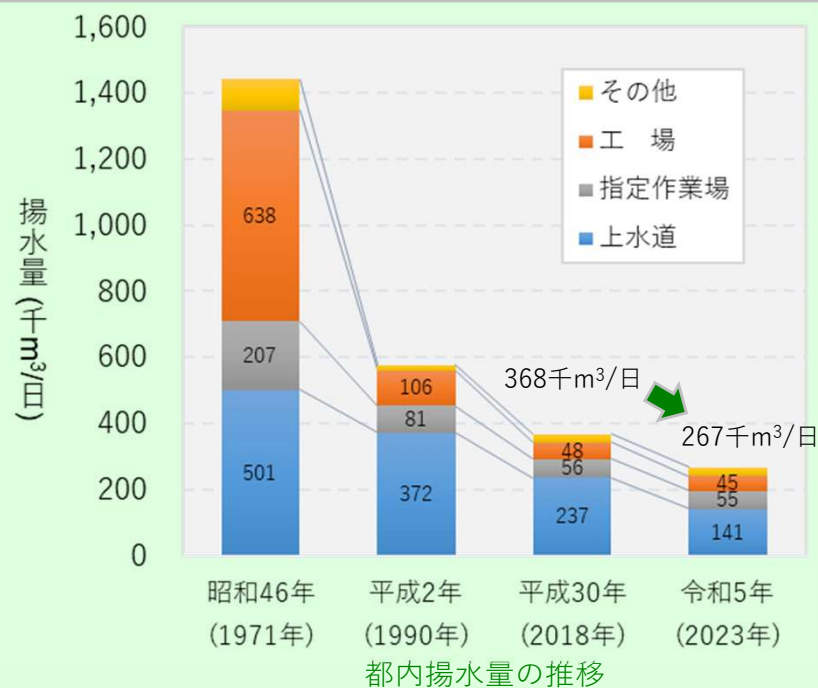


図-5 令和5年末の地下水位等高線図

(比較) 平成30年末の地下水位等高線図



図-4 平成30年末の地下水位等高線図



観測井における地盤と地下水位の地域別現況（１） 低地

地下水位

➤ 上昇傾向が継続

- ・ 直近 5 年間の変動量（12月平均水位）は全38観測井で上昇： +0.22m ～ +3.39m
 亀戸第1, 5年間変動量： +1.01m（H30～R4）⇒ +0.97m（R1～R5）

地盤

➤ 直近 5 年間で 2 cm以上沈下した地域はなく安定した状況。

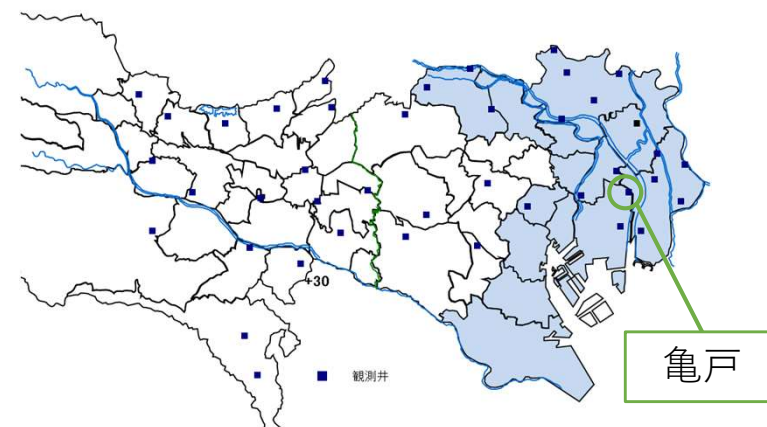
➤ 浅層部（管底以浅）は収縮傾向を示す観測井が多く、深層部（管底以深）は膨張傾向を示す観測井が多い。

・ 直近 5 年間累積変動量

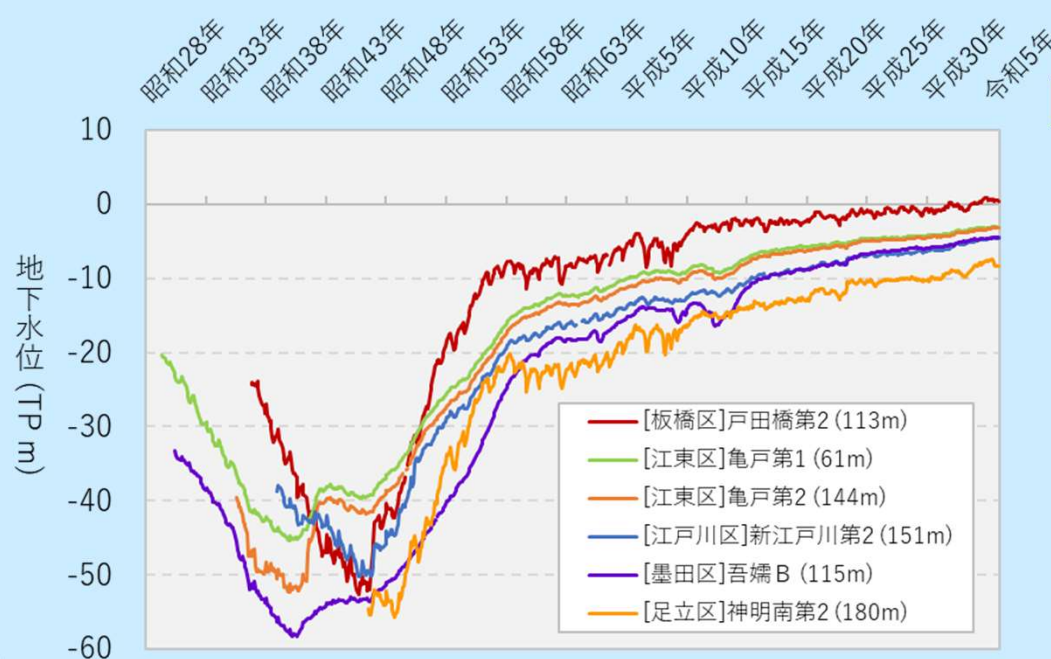
全 体：収縮 7 本、膨張 33 本、 -1.14cm ～ +0.82cm

浅層部：収縮 34 本、膨張 5 本、 -1.43cm ～ +0.57cm

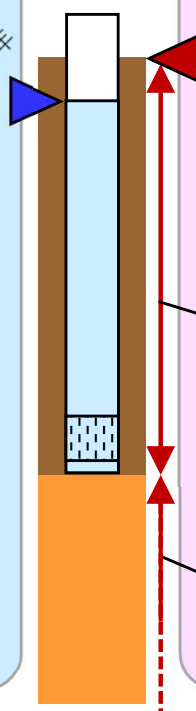
深層部：収縮 2 本、膨張 37 本、 -0.12cm ～ +1.13cm



■ 主な観測井の地下水位

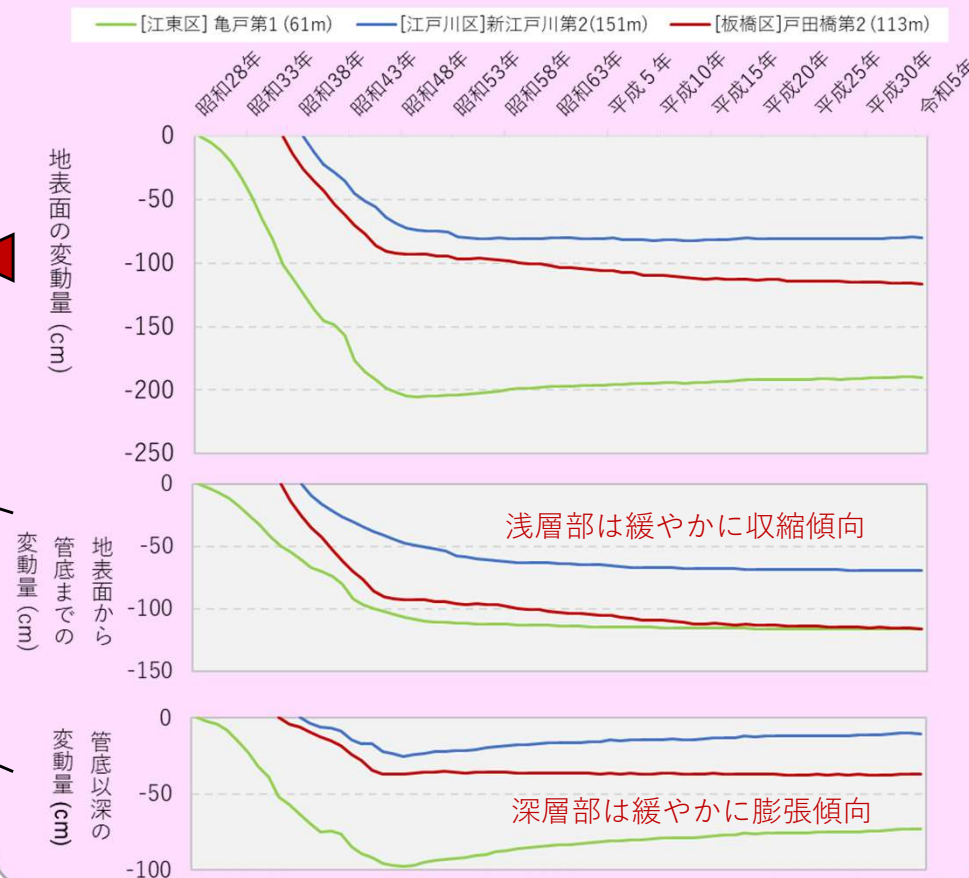


観測井



■ 主な観測井の地層別変動量

※平成23年変動量を除く



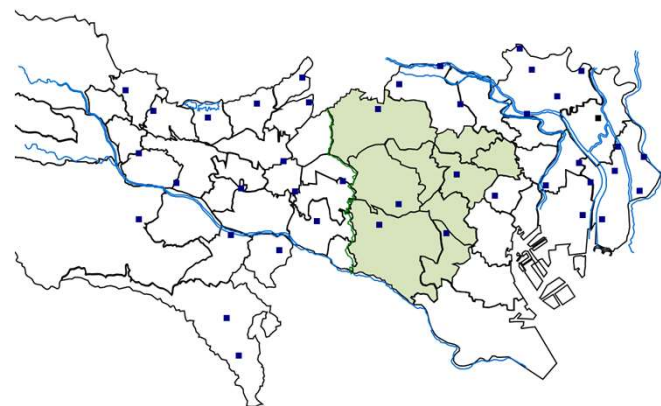
観測井における地盤と地下水位の地域別現況（２） 台地（区部）

地下水位

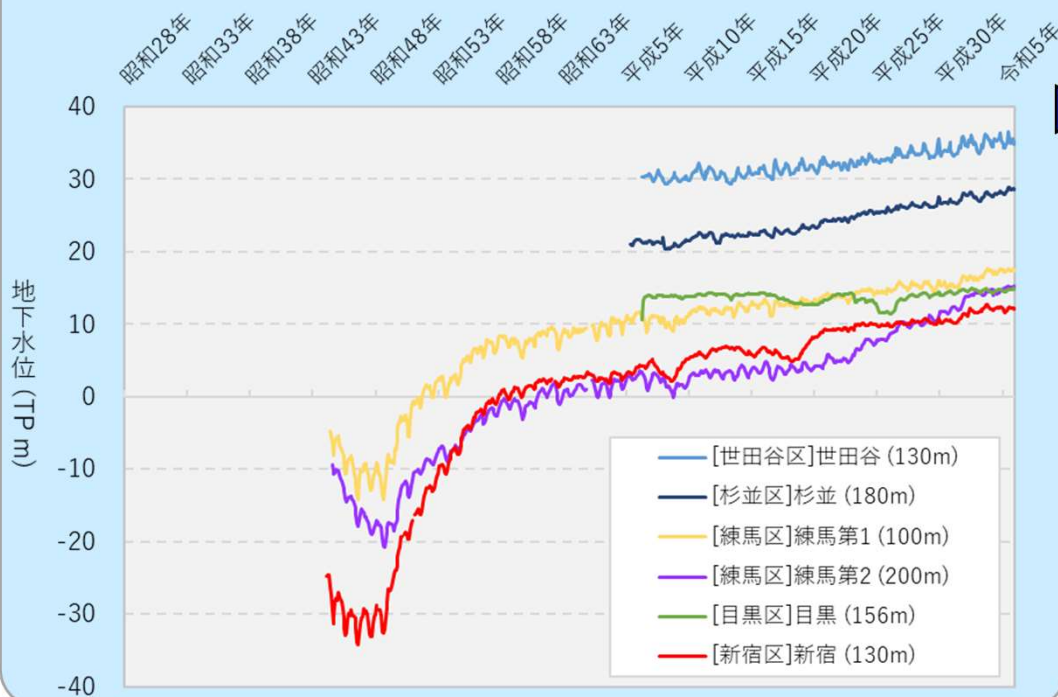
- 上昇傾向が継続
 - ・ 直近 5 年間の変動量（12月平均水位）は全 6 観測井で上昇：+0.39m ～ +3.00m
 - 練馬第二：+3.00m

地盤

- 直近 5 年間で 2 cm 以上沈下した地域はなく安定した状況。
- 浅層部（管底以浅）は一部を除きほぼ変動が無く、深層部（管底以深）は膨張傾向を示す観測井が多い。
 - ・ 直近 5 年間累積変動量
 - 全 体：収縮 4 本、膨張 2 本，-0.66cm ～ +0.55cm
 - 浅層部：収縮 5 本、膨張 0 本，-0.61cm ～ ±0.00cm
 - 深層部：収縮 4 本、膨張 2 本，-0.19cm ～ +0.60cm



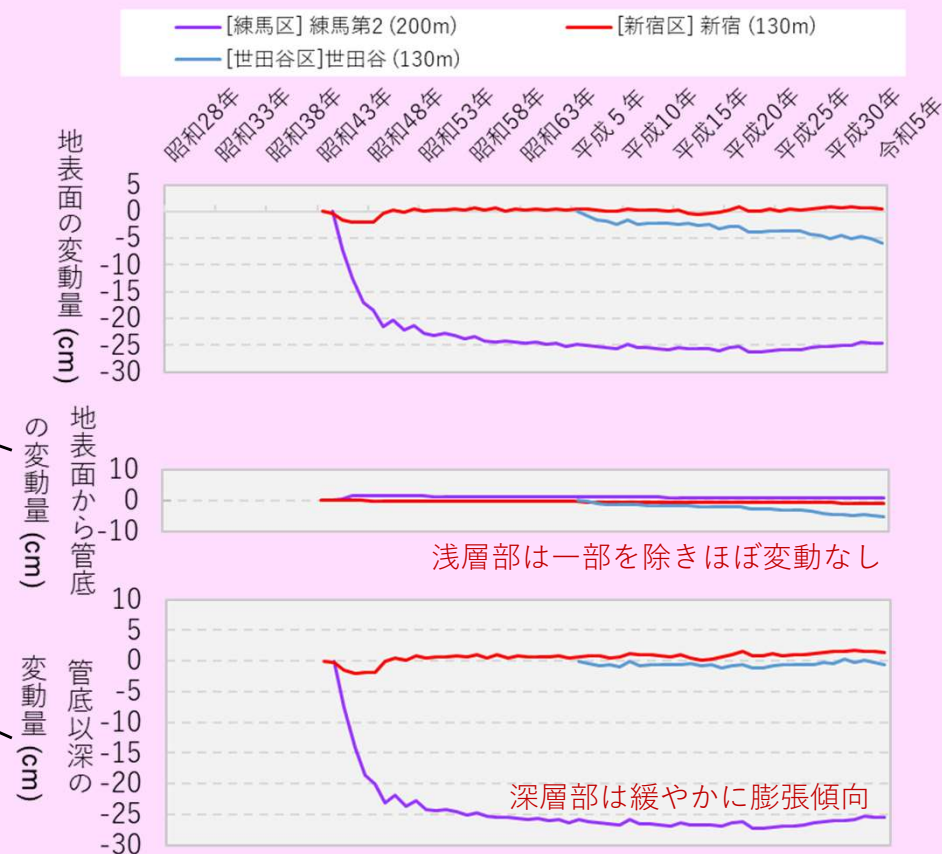
■ 主な観測井の地下水位



観測井

■ 主な観測井の地層別変動量

※平成23年変動量を除く



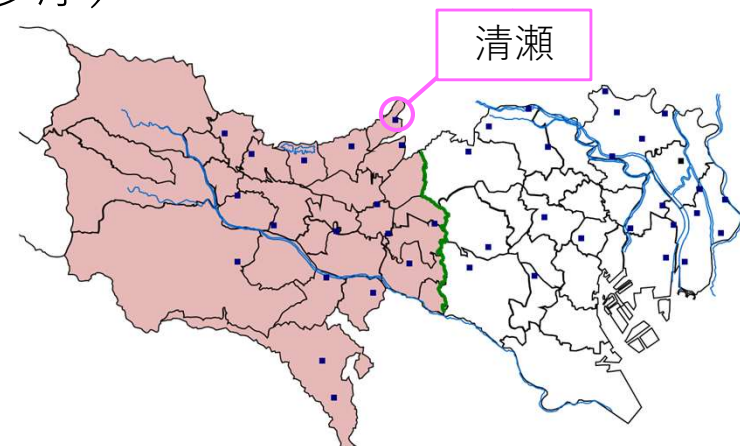
観測井における地盤と地下水位の地域別現況（3） 台地（多摩）

地下水位

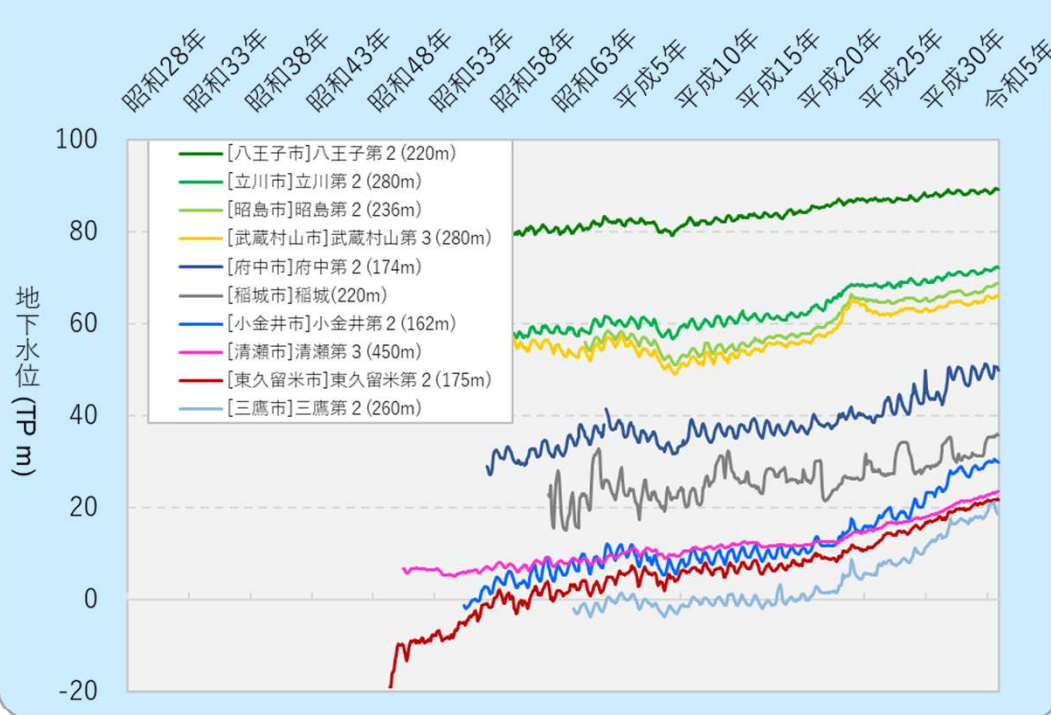
- 上昇傾向が継続。多摩東部の上昇が顕著。
 - ・ 直近5年間の変動量（12月平均水位）は2井を除く40井で上昇：-0.21m～+10.19m
 - 府中第3：+10.19m

地盤

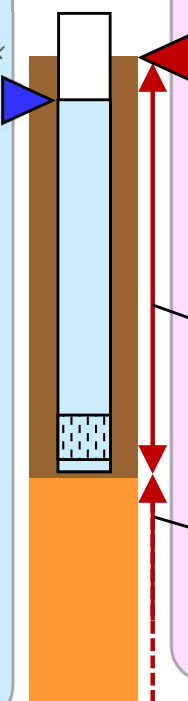
- 直近5年間で2cm以上沈下した地域はなく安定した状況。
- 浅層部（管底以浅）は収縮も膨張傾向も見られ、深層部（管底以深）は膨張傾向を示す観測井が多い。
- 長期沈下傾向にあった一部地点の沈下は収束。
- ・ 直近5年間累積変動量
 - 全体：収縮4本、膨張39本、-1.26cm～+1.62cm
 - 浅層部：収縮20本、膨張22本、-1.01cm～+0.93cm
 - 深層部：収縮3本、膨張40本、-0.28cm～+1.58cm



■ 主な観測井の地下水位

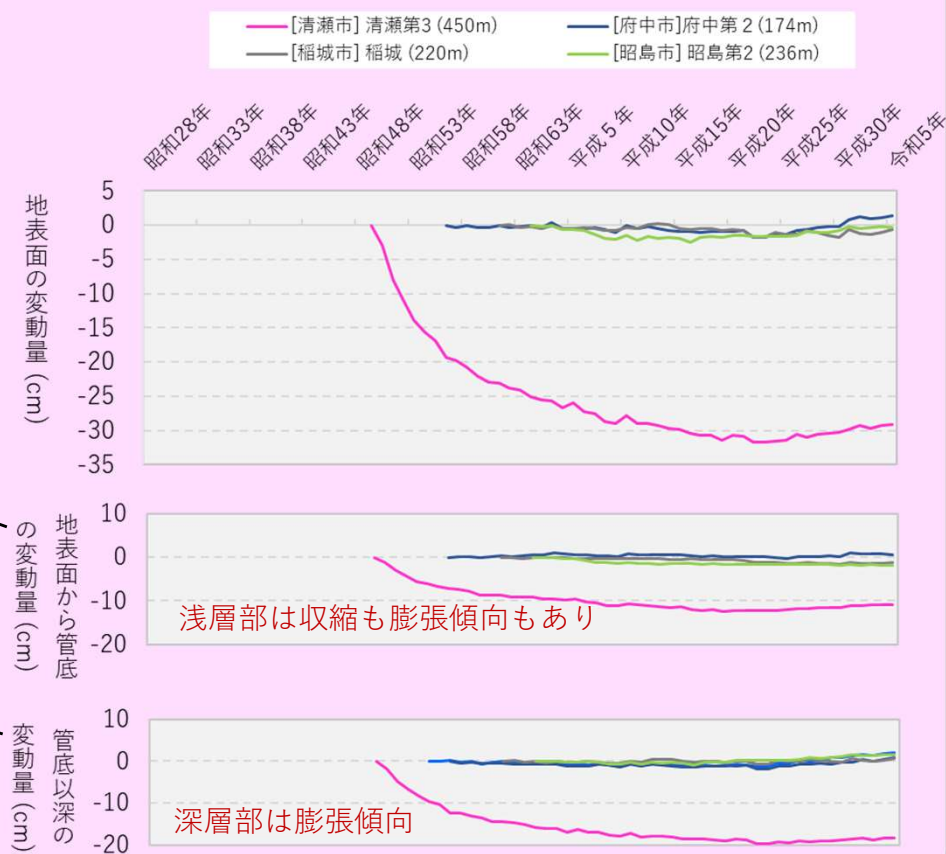


観測井

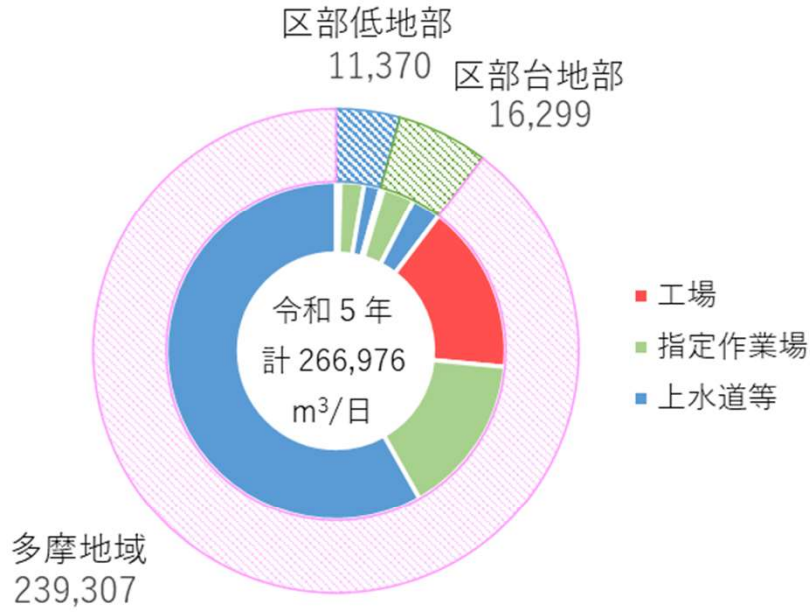


■ 主な観測井の地層別変動量

※平成23年変動量を除く



都内の地下水揚水の傾向



令和 5 年の地域別揚水量 (m³/日)

令和 5 年揚水の地域別割合 (%)

	事業所数	井戸本数	揚水量
区部低地部	31.6	27.7	4.3
区部台地部	19.4	16.5	6.1
多摩地域	49.0	55.8	89.6

令和 5 年の都内地下水揚水の傾向

- 業態別割合 工場：17% 指定作業場：20% 上水道等：63%
- 用途別割合 飲料：58% 製造工程：11% 環境用水：10% ほか
- 地域別割合
 - ・ 事業所数 区部：51% 多摩地域：49%
 - ・ 揚水量 区部：10% 多摩地域：90%

近年この傾向に変化はない。
直近 5 年間では、多摩東部で上水道用揚水が大きく減少している。

